

# 通信

## ●東京だより

田 中 生

肅啓、梅雨の候と相成申候、降るにあらず、照るにあらずるとき、萬物は皆徽花を生じたるの思ひして、此旬日を送らざるべからざるは、毎年の事ながら吾人をして倦ましめ申候、殊に灰燼の山を積まれたる帝都道路に遠慮なく霖雨を浴せかけ路面の泥濘、歩行の難、到底地方人士の想像を許さざる處に有之、「聞馴れて、降らぬに似たり、五月雨」などと洒落れて居る譯に行かざる生活上の重大問題に御座候、烟雨を眺めて何とかし度ものであるとは識者の嘆聲に候得共、此何とかし度ものが何ともならざるは不甲斐なき次第に御座候、前號に於て本通信の杞憂に終らむことを希望致置候道路會議廢止の問題は、遂に其の希望も裏切られ四月十七日勅令第九〇號を以て廢止すべき旨公布せられ候、前號に於て申述候

通り道路會議成立の動機が、普通の調査會又は委員會等の如く、單に事務處辨に便する爲に設けられたるものに無之、道路法審議の場合に於ける衆議院多數の要求に基きたるものにして、之が存廢を決定するに方りては、之を要求したる議會の意思を尊重することを要するに拘はらず、何等之を顧慮せずして斷行したるが如きは、超然内閣の超然振を發揮したるものとの批難を受くるも辯解の辭なきこと、被存候、更に之を法律上の見地よりするも、將た會議の實質上の價值より視るも、將來文化の進展に伴ひ、攻究すべき幾多政策の前途に横たはれる今日之を廢止するが如きは帝國經濟政策上不得策なるものと申すべく寧ろ之を存置し帝國經濟會議の一部門に屬する會議と爲し道路に關する専門的研究を爲さしむるが、經濟會議設立の趣旨に合致するものに非ざるかと被存候、帝國經濟會議々員も發表せられ、實業界の重鎮を網羅した



る點に於ては帝國議會の議員と異り有智有識者の會合として立派なものに有之候、本會の役員にして任命せられたる者、大橋監事、堀田副會長、山田松木兩理事の外評議員中島久萬吉氏始め廿三名の多數を占め候は、吾人の意を強くする處に有之、前述の如く路政の最高諮問機關たる道路 議が廢止せられ候得共、是等の諸氏に依りて道路政策が論議攻究せられる、事、相成候は、道路會議廢止の不利益を幾分たりとも緩和することを得る義と存候、是等諸氏に希ふ所のは、帝國經濟界の發展を期するには近時擡頭したる道路交通が産業上に齎す處の偉大なる效果に鑑み之が使命を有する道路の改良改善を、經濟政策の一として大に論議せられむとに御座候、同會議に諮詢第十號議案は、運輸交通の組織聯連を完全にし、物資の配給を迅速圓滿ならしむる方策如何と言ふに有之、本案を附議するに至りたる理由は、水陸運輸の組織及聯絡の整備、貨客輸送の促進を期し、水陸運輸機關の利用率を増進するは、國家經濟の振興に至大の影響を及ぼすに拘はらず、我國の現状を觀るに此種の施設未だ十分ならざるものあり、隨て荷役其の他の爲徒に日子と手數及費用を要し、其の結果物資需給の調節を妨げ、更に物價の高騰を告ぐるに至る虞なきに非ざるを以て、此際殊に海港に於ける海陸の設備、

船車の聯絡、輸送機關の改善、行政組織の統一等各般の事項に關し、根本及應急に互りて改良改善の適切なる方法を攻究して之を實現せしむるの緊要なるを認め、本問題を提供したるものに有之候之を調査審議すべく同會議は交通部會を設け研究中に有之未だ意見の答申無之候得共船車の聯絡輸送機關の改善問題には當然道路問題を包含すべきものなるを以て、答申に係る意見の發表は吾人の鶴首待つ所に有之、其の意見の發表を俟て更に論評する機會の一日も早からむとを祈居候、内務省に於ては、都市計畫主任官會議を招集し、都市計畫上に關する指示又は協議を爲す所有之候、現代に於ける都市計畫又は其の事業が、主として街路に關するもの多きを占め都市計畫事業と言は、直に道路工事を聯想せしむる位に密接の關係を有し候に付、路政に關係を有する吾人が此種會合に於て論議されたる問題を重視する處に有之候、同會議に於ける指示事項にして道路に關係を有する主要なる事項は街路網の確立に關する事項に有之候、今や各都市發展膨脹の趨勢は交通運輸の關係を益復離多岐ならしめ、之を現時の儘に放任するときは、遂に都市生活を脅すに至るべく、寔に寒心に堪へざる所なるを以て各都市現在の機關に依る交通運輸の状態を系統的に調査し其の結果を基礎として將來を考察し適當

なる街路網を確立することは極めて必要なるに有之候、是に依り確立したる街路の利用價值を判斷し、順次街路の改良に着手するは最も緊要なるに屬し、此指示の趣旨に對し吾人は双手を擧げて賛成する所に有之、寧ろ本指示の遅かりしを遺憾とする次第に御座候得共我國の都市計畫なるものが常に平面圖に計畫線を記入し以て満足するが如き嫌あるは吾人の常に不滿とする處なるを以て街路網を確立すると共に、之が改良計畫に着手するを望で己まざる次第に御座候、

特別議會に提出さるべき、大正十三年度追加豫算も確定されたる趣に有之、道路改良費に在りては、震害地道路改良費補助百萬圓と既定の道路改良費に五十萬圓を追加せむとするものに有之、前者は神奈川縣管内に屬する一號及三十一號國道並に横須賀市内の街路が地方交通上重要なものなるに拘はらず、路幅狹隘にして現時の交通に順應する能はず、爲に早晚之を改築するの必要に迫られたるものなりしが、這般の震災に依り、其の沿道に連檐する人家が燒失又は倒壊したるを以て、此機會に路幅を擴張し、地方復興後に於ける改築の困難と經費の節約を圖るが爲に、今之を改築せしめ、地方復興を助成するが爲、之に對し大正十三年度以降十七年度迄毎年百萬圓を限り國庫より補助せむとするものに有之候、之に

依つて神奈川縣管内に於ける國道にして、街衢を形成する箇所に於けるものは大部分九間乃至十二間に路幅を擴張すると、相成、路政の爲欣快に堪へざる處に御座候、

後者は震災前道路改良費より補助せられたる東東市路面鋪裝工事は、復興事業との關係上一時補助を廢止せられたるも、今回従前の計畫を變更し、燒失區域外に於ける巾員六間以上の道路を鋪裝することゝ爲したるを以て、之に對し十三年度に於て五十萬圓を補助せむとするものに有之、是に依つて市内道路は従前の計畫通り鋪裝せらるゝことゝ相成、工事了の曉は面目を一新することゝ相成べく候得共、市當局は果して此工事を大正十三年度に全部完了せしむるや、甚だ懸念に堪へざる處に御座候、内務當局の談する所に依れば、若し市が豫定の通り大正十三年度に於て、工事を完了せしめざるときは、補助を取消し又は減額すべき由に付、緊揮一番工事の完了を怠らざる様願ひたきものに御座候、

此東京市道路を改良するに就きては、市當局の一段の努力を要すること勿論に候得共、一面市民が其の實行を援助するに非ざれば、到底遂行するを得ざる義に有之候、新聞紙の傳ふる所に依れば、既に路面鋪裝を完了し、沿道受益者負擔金を賦課せられたる者が、最近に至り負擔金納付の繰延を陳情

し、五ヶ年分納を十ヶ年に延長し、延納利子の免除を要求したる趣に有之候、是が爲に市は豫定の收入を得る能はずして、財政の經理に困難致居候由なるも、今回鋪裝せむとする區域は、燒失せざる部分なるを以て、特に私人が經濟上に困難する處も是れなかるべく、成るべく負擔金を一時に納付し事業の執行を援助するの必要と、義務を有するものと存候、米國に於ける自動車王ヘンリー、フォード氏明春來朝するとの通信有之候、簡易にして比較的低廉なる自動車の普及は貧乏なる我國氏の歡迎する所に有之候、乍併彼地に於ける排日が、吾人の豫想を裏切たるが爲、是が報復手段として自動車の購入をも見合せ度山々に候得共、後述するが如く、之を敢行するの我に不利なるを想は、暫時隱忍するより外無之候何は兎もあれ、良き道路が自動車の發達を齎すに非ずして自動車が良い道路を齎すものなりと言明致居候同氏が、我國道路の現状を觀て其の言を固持するやを確め度ものと存居候、米國に於ける排日が、吾人の豫想に反し熾烈にして遂に移民法の確定を觀るに至りたるは遺憾此上なく候、一般米人が我國民を何となく毛嫌し、我移民を國外に追出し、更に來るべきものを拒絶せむとする感情を有するは、今に始まりしものに無之、會々這般の大震火災に依つて我國財界に著しき損

失を與へたると、華府會議の結果我國海軍力の制限を受けたるとに附け込み、從來の感情を實現したるに外ならず候、其の行爲の憎むべく、正義人道を口にする彼米人の行爲とは思はれざる程、非文明的行爲に有之、此憎むべき行爲に對し我も亦報復手段として、米國人排斥法を制定し、米國製品不買同盟を作り、彼の反省を求むることに致度候得共、靜に之を考ふるときは、彼の非文明的、非人道的の行爲に對し、我も亦之を以て臨むは紳士的態度にあらざるのみならず、我の不買同盟に彼が報復して、我製品の不買同盟を實行するに至らば、我國經濟界の受くる損失多大なるものあるに至るべく、之を想ひ、彼を想ふとき我の報復の賢明なる策にあらざることを知るを以て、吾人は互に浪費を慎み、刻苦奮勵産業の進展に力を致し、徐に國民經濟の發展を圖りたる上、彼に報復するの覺悟を有せざるべからず候、移民法の緩和策として彼は又更に移民制限協約を提案すべきも、我は彼の反省を求めて飽くまで之を拒絶し、假令國交斷絶するも尙辭せざるの覺悟を持するの必要有之候、今は輕舉盲動を慎み、臥薪嘗膽を腦裡に刻み付け、此後の措置に備ふるを以て一等國民たる態度を持するの極めて切なること、存候、之に關しては論議すべき幾多の問題有之候得共今回は是にて擱筆致候敬具。